

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	合田 千佳
授業の概要				
<p>・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格          ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	<p>・ユーザー教育・社内教育担当として2年の実務経験          これまでのユーザー向けや社内向け講座の企画立案からじゅんび・実施・フォローの経験を活かし授業を行う</p>			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	<p>・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作</p> <p>1. Excelの基本 2. データの編集 7. 関数</p>	<p>※授業の目的と評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する</p> <p>Microsoft Officeの概要、各ソフトの特徴、Excelの起動・終了、Excelの画面構成 データの入力、データの移動とコピー、数式の入力、ブックの保存 統計関数(SUM関数・AVERAGE関数・MAX関数・MIN関数)</p>		
2	<p>2. データの編集 3. 表の編集</p>	<p>絶対参照と相対参照、オートフィル</p> <p>罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除</p> <p>ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法</p>		
3	<p>Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練</p> <p>7. 関数 6. ブックの利用と管理</p>	<p>練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する</p> <p>統計関数(COUNT関数・COUNTA関数) 数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数)</p> <p>ワークシートの管理(シート名の変更)</p>		

回	テ ー マ	内 容
4	7. 関数 6. ブックの利用と管理 5. グラフと図形の作成	統計関数(RANK. EQ関数・RANK. AVG関数) 論理関数(IF関数・OR関数・AND関数) 日付関数(TODAY関数) ワークシートの管理、ウィンドウの操作  グラフの作成、グラフの編集、図形の作成
5	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題4部分の答練 8. データベース機能	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する  リストの作成、並べ替え、データの抽出、テーブル機能
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる  2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める

回	テーマ	内 容		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定医試験3級問題集(サーティファイ)		期末試験 出席率	50.0% 50.0%	【授業準備】 テキストを読み予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接客検定2級取得を目標 6月以降はビジネス文書3級の勉強を行う				
検定取得と併せて、就職して新人研修を行わなくても、すぐ現場で接客できるようマナーについても勉強する。				
授業終了時の到達目標				
サービス接客検定2級合格 社会人として必要なマナーを身につける 就職先で同僚や上司にかわいがってもらえる人になるのが、目標!				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして13年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識	Ⅱ 専門知識 2、従業知識 ① 商業活動、経済活動が理解できる ② 商業用語、経済用語が理解できる Ⅲ 一般知識 1、社会常識 ① 社会常識がある ② 時事問題を理解している		
2	Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識	過去問 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識		
3	Ⅳ 対人技能	1、人間関係 ① 人間関係の対処について、理解がある 2、接客知識 ① 顧客心理を理解し、能力を発揮することができる ② 一般的なマナーを発揮できる ③ 接客者としてのマナーを、発揮することができる		
4	Ⅳ 対人技能	3、話し方 ① 接客用語を知っている ② 接客者としての話し方ができる ③ 提示、説明ができる 4、服装 ① 接客者としての適切な服装ができる		
5	Ⅳ 対人技能	過去問 Ⅳ 対人技能		

回	テ ー マ	内 容		
6	V実務技能	1、問題処理 ①問題処理について、対処できる 2、環境整備 ①環境整備について、対処できる 3、金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる 4、金品搬送 ①送金、運搬について、理解できる 5、社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある  過去問		
7	過去問	V実務技能		
8	過去問	V実務技能		
9	POP作り	お店や病院でPOP作りをするときのポイント		
10	I 表記技能	1、総合 ①文字を、丁寧に、正しく、読みやすく、整えて書くことができる 2、用字 ①やさしい実用文に使われる常用漢字と、固有名詞やビジネス用語に使われる漢字とを書くことができる ②常用漢字表にはあるが、仮名書きすべき語句を、一応、知っている		
11	I 表記技能	2、用字 ③「現代仮名遣い」について、一応、知っている ④「送り仮名の付け方」を正しく使える ⑤片仮名が正しく書け、仮名書きする語句について、一応、知っている ⑥数字が正しく書け、漢数字と算用数字との使い分けができる ⑦句読点が正しく使える		
12	I 表記技能	3、用語 ①一般の用語について、一応、知っている ②やさしい同音異義語や異字同訓語を使い分けることができる ③慣用の手紙用語について、一応、知っている		
13	I 表記技能	4、書式 ①横書き通信文の構成とレイアウトについて、一応、知っている		
14	I 表記技能	I 表記技能 過去問題		
15	I 表記技能	過去問題 I 表記技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定	2級 受験ガイド	期末試験	80.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。  【準備学習】
ビジネス文書検定	3級 受験ガイド	出席率	10.0%	
		課題・レポート	10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
就職した際に必要な文書の知識を身につける				
授業終了時の到達目標				
ビジネス文書検定3級合格 社会人として必要なマナーを身につける 就職先で同僚や上司にかわいがってもらえる人になるのが、目標!				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして13年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	Ⅱ表現技能	1、正確な文章 ①普通の長さの文を、文法的によじれなく書ける。 ②類義語を使い分けができる。 ③曖昧な用語や二通りに解釈できるような語句について、一応、知っている。		
2	Ⅱ表現技能	2、分かりやすい文章 ①表題(件名)が付けられる。 ②箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる。 2、分かりやすい文章 ①表題(件名)が付けられる。 ②箇条書きなどを使って、文章を分かりやすくすることができる。 ③分かりやすくするための図表が書ける。		
3	Ⅱ表現技能	3、礼儀正しい文章 ①人を指す言葉、敬称を知っている。 ②「お・ご(御)」を正しく付けられる。 ③動作の言葉に付ける尊敬語と謙譲語とを、単純な場合に、正しく使うことができる。		
4	Ⅱ表現技能	3、礼儀正しい文章 ④丁寧な言葉を遣い、丁寧な言い回しが、一応、できる。 ⑤現在用いられている手紙上のエチケットやしきたりを、一応、知っている。		
5	Ⅱ表現技能	過去問題 Ⅱ表現技能		

回	テ ー マ	内 容
6	Ⅱ 表現技能	過去問題 Ⅱ 表現技能
7	Ⅲ 実務技能	1、社内文書 ①簡単な社内文書（通知文など）が書ける。
8	Ⅲ 実務技能	2、社外文書 ①簡単な業務用社外文書が、文例を見て書ける。
9	Ⅲ 実務技能	3、文書の取り扱い ①受発信事務について、一応、知っている。 ②「秘」扱いの文書の取り扱いについて、知っている。 ③郵便について、一応、知っている。 ④用紙の大きさ、紙質について、一応、知っている。 ⑤印刷物の校正について、知っている。
10	Ⅲ 実務技能	過去問題 Ⅲ 実務技能
11	Ⅲ 実務技能	過去問題 Ⅲ 実務技能
12	Ⅲ 実務技能	過去問題
13	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能
14	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能
15	過去問題	I 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能

回	テ ー マ	内 容		
16	確認テスト	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
17	確認テスト解説 過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
18	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
19	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
20	過去問題	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
21	検定解説	Ⅰ 表記技能 Ⅱ 表現技能 Ⅲ 実務技能		
22	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
23	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
24	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
25	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
26	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
27	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
28	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
29	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
30	マナー	社会人として必要なマナーについて勉強する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定受験ガイド3級		期末試験 出席率 課題・レポート	80.0% 10.0% 10.0%	検定結果を期末試験の代わりとします。  【準備学習】 次回の授業内容を



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学 I		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 実技				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして26年 これまでの経験を生かし授業を展開しまた同時にライセンス試験のための対策も行う。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 5	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
6~ 7	プードルマイアミ	絵を書く カットの説明		
8~ 9	プードルボレロマンハッタン	絵を書く カットの説明		
10~ 11	サロントリマー 3級試験対策	過去問題を解きながら対策		
12~ 13	今までのおさらい	仕事で使う事例でのおさらい		
14	スタンダードに基いて考えるトリミング	骨格などの説明		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
繁殖飼育学		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉

## 授業の概要

繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雌雄がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな個体(生命)が誕生する神秘的な営みである。本科目では主にイヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常な分娩の前兆、生理的変化と異常分娩時における助産について学習する。また、産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる。ブリーディングにおいて知っておかなければいけない交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める。また、イヌとネコ以外の動物についても繁殖に関して比較して学習する。

## 授業終了時の到達目標

イヌ、ネコの繁殖について説明ができる  
 イヌの交配について説明ができる  
 ネコの交配について説明ができる  
 イヌ、ネコの生殖器について説明ができる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院にて獣医師として診療 37年 動物系専門学校にて教員としての教務 14年

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	雌の生殖器の構造と機能	雌の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
2	雄の生殖器の構造と機能	雄の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖
3	性成熟と生殖周期① 生殖活動に関連するホルモン	雌イヌと雌ネコの性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
4	性成熟と生殖周期② 生殖活動に関連するホルモン	各種動物の性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン
5	雌イヌの繁殖①(排卵と交配)	イヌの排卵、交配時期
6	雌イヌの繁殖②(妊娠、分娩)	イヌの妊娠、分娩
7	雌ネコの繁殖①(排卵と交配)	ネコの排卵、交配時期
8	雌ネコの繁殖②(分娩) 帝王切開	雌ネコの妊娠、分娩
9	出産①	出産の立ち会い方
10	出産③	助産
11	難産、帝王切開	生まれてきた子犬の健康維持について
12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の健康維持について
13	離乳期の飼い方	離乳食の与え方

回	テ ー マ	内 容		
14	まとめ	まとめ		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	基礎動物看護学①動物形態機能学 動物繁殖学（インターズー） 動物看護のための小動物繁殖学（ファームプレス） 獣医繁殖学（文栄堂出版）	期末試験 授業態度	50.0% 50.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC I		動物看護総合学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	三村, 吉本, 森, 山地, 北村
授業の概要				
1年次のグルーミング実習の復習とスピードアップ 部分的・簡易的な全身カットに必要な、トリミング技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ペット技能検定協会 トリマー2級合格 2時間以内にグルーミング作業を終わられるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	<b>【実務経験】</b> 吉本真紀 トリマーとして27年 森 純子 トリマーとして14年 三村梨恵 トリマーとして13年 山地香里 トリマーとして3年  豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~60	基礎	1年次の復習とスピードアップ 部分的なカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プロが教えるベストトリミング ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	<b>【準備学習】</b> 実習にあたりシ ザーの練習や美容 学の復習をして おく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC II		動物看護総合学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	三村, 吉本, 森, 山地, 北村
授業の概要				
グルーミング作業の効率・スピードUPを目指す 全身カットに必要な、トリミングの基礎を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
トリミング2級試験合格 全身カットができるようになる 犬に負担をかけないような、丁寧な扱いができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	<p>【実務経験】 吉本真紀 トリマーとして27年 森 純子 トリマーとして14年 三村梨恵 トリマーとして13年 山地香里 トリマーとして3年</p> <p>豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる</p>			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~30	基礎 部分的な、簡易カットの取得	お尻・顔等の部分的なカットとバリカンを使用した簡易的なカットの習得		
31~60	基礎 全身カットの開始	バリカン・シザーを使用した全身カット(ペットカット)を開始		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		出席率 実習・実技評価	10.0% 90.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保護衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等々の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛玩動物飼養管理士一級の取得</li> <li>・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第1章	日本における動物愛護運動の起こり	
		第2章	第二次世界大戦後の動物愛護運動	
3~4	第1編 動物愛護論Ⅱ 日本における動物愛護運動の歴史と展望	第2章	第二次世界大戦後の動物愛護運動	
		第3章	動物愛護の今後の展望	
5~6	第2編 動物関係法令	第1章	動物と法律	
7~8	第2編 動物関係法令	第2章	飼養動物と関係法令	
9~10	第2編 動物関係法令	第3章	野生動物と関係法令	
11~12	第2編 動物関係法令	第3章	野生動物と関係法令	
13~14	第3編 動物の行動と社会	第1章	行動とは何か、社会とは何か	
15~16	第3編 動物の行動と社会	第6章	犬と猫の行動と社会	
17~18	第3編 動物の行動と社会	第7章	問題行動とその予防と対処	
19~20	第4編 犬と猫の栄養学	第1章	栄養素とその機能	
21~22	第4編 犬と猫の栄養学	第2章	犬と猫が必要とするエネルギーと栄養素	
23~24	第4編 犬と猫の栄養学	第3章	ライフステージと栄養	
25~26	第4編 犬と猫の栄養学	第4章	犬と猫のペットフードの進展	

回	テ ー マ	内 容		
27～ 29	確認テスト	過去問題を解いて解説する		
30	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士一級第1巻		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【事前学習】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、保健衛生、公害問題、動物の疾病予防、管理士の社会活動、各種動物の飼養管理、犬猫のしつけ等の知識を体系的に習得・普及する指導員を養成する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛玩動物飼養管理士一級の取得</li> <li>・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~2	第Ⅴ編 動物の遺伝と繁殖生理	第1章 動物の遺伝と繁殖生理 第2章 動物の繁殖生理		
3~7	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第1章 動物の疾病とその予防		
8~10	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第2章 犬の疾病とその予防		
11~12	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第3章 猫の疾病とその予防		
13	第Ⅵ編 動物の疾病とその予防	第4章 その他の哺乳類の疾病とその予防		
14	第Ⅶ編 動物の飼養管理と公衆衛生	第1章 人と動物の共生に必要な公衆衛生の課題		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士1級教本(上・下)		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【事前準備】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
脚側歩行訓練ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1～5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング		
6～10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11～15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 授業態度	50.0% 50.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
脚側歩行訓練ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング		
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	50.0% 50.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床動物看護学各論Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	消化器の病気 5	腸の疾患 タンパク漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症		
2	消化器の病気 5	消化管内異物・腸閉塞・腸重積		
3	消化器の病気 5	胃の疾患 胃拡張胃捻転症候群・幽門狭窄・胃炎		
4	消化器の病気 5	食道の疾患 (右大動脈弓遺残含む)		
5	消化器の病気 5	口腔の疾患 1 歯の形態機能(復習) 不正咬合、乳歯遺残、口蓋裂・歯周病		
6	消化器の病気 5	ヘルニア(臍・鼠径・会陰・横隔膜)		
7	消化器の病気 5	肝臓疾患 肝炎、肝硬変、肝リピドーシス、門脈体循環シャント 胆嚢粘液水腫		
8	消化器の病気 5	膵臓の疾患 膵炎、膵外分泌不全 消化器疾患動物の看護		
9	整形外科疾患 1	骨折・脱臼・膝蓋骨脱臼・前十字靭帯断裂		
10	整形外科疾患 1	股関節形成不全・関節炎・変形性関節症		
11	整形外科疾患 1	レッグペルテス・骨肉腫 整形外科疾患動物の看護		
12	循環器疾患 1	循環器の形態機能復習 僧帽弁閉鎖不全		
13	循環器疾患 1	心筋症・血栓塞栓症・犬糸状虫		
14	循環器疾患 1	先天性循環器疾患(心房・心室中隔欠損、卵円孔開存・右大動脈遺残症・動脈管開存・ファロー四徴症)		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
臨床動物看護学各論Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	田上 真紀

## 授業の概要

様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。

## 授業終了時の到達目標

動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる

実務経験有無	実務経験内容
有	岡山市内の動物病院で1年、広島市内の動物病院で3年半獣医師として勤務

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	呼吸器の病気1	呼吸器系の解剖生理を復習する 呼吸器の疾患(鼻汁、くしゃみ、咳)
2	呼吸器の病気2	呼吸器の疾患(ケンネル・コフ、上部気道感染症候群)
3	呼吸器の病気3	呼吸器の疾患(肺炎、水胸、膿胸、血胸)
4	呼吸器の病気4	呼吸器の疾患(気胸、肺気腫、気管虚脱、横隔膜ヘルニア)
5	泌尿器の病気1	泌尿器系の局所解剖と生理を復習する 泌尿器系の主な症状と検査
6	泌尿器の病気2	泌尿器系の疾患(腎不全)
7	泌尿器の病気3	泌尿器系の疾患(下部尿路疾患)
8	生殖器の病気1	生殖器系の局所解剖と生理を復習する
9	生殖器の病気2	生殖器系の疾患(子宮蓄膿症、乳腺腫瘍)
10	生殖器の病気3	生殖器系の疾患(前立腺肥大、潜在精巣、陰嚢ヘルニア)
11	神経系の病気1	神経系疾患の局所解剖と生理を復習
12	神経系の病気2	神経系の疾患(椎間板ヘルニア、水頭症)
13	神経系の病気3	神経系の疾患(てんかん、変性性腰仙部狭窄症)
14	神経系の病気4	神経系の疾患(環椎軸椎脱臼、脊椎奇形)

回	テ ー マ	内 容		
15	期末テスト			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典	期末試験 出席率	80.0% 20.0%	復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学概論Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	小松 志帆
授業の概要				
<p>小動物診療はますます高度化し、動物病院においては獣医師のほかに「診療の補助行為をはじめとする種々の動物医療関連業務」に携わり、かつ飼い主に対する適切な世話や指導を行う動物看護師の重要性が大きくなってきた。単に獣医師の補助的サポートをするだけではなく、獣医師が為せる職域ではない「動物看護学」を学び、職域として確立する。動物看護師は、獣医師の業務である診断、処方、手術、予後の判定以外の多岐にわたる業務をこなさねばならない。「動物看護学」では、概論として動物看護技術を身につける以前に必要な要素について概論で学び、動物看護師を目指す目的に向かってステップアップする。</p>				
授業終了時の到達目標				
動物看護師の職域を理解し、動物病院において獣医師・飼い主双方のサポートを行うことのできる人材となる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として10年、動物病院で勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~2	動物の看護過程展開①	動物看護を実践するために必要な、動物の看護過程について学ぶ意味を考える		
3~4	動物の看護過程展開②	動物の看護過程とは何か？を知る		
5~6	動物の看護過程展開③	動物の看護過程：展開を学ぶ		
7~8	動物の看護過程展開④	動物の看護過程：展開を学ぶ		
9~10	動物の看護過程展開⑤	動物の看護過程：展開を学ぶ		
11~12	動物の看護過程展開⑥	動物の看護過程：展開を学ぶ		
13~14	動物の看護過程展開⑦	動物の看護過程：展開を学ぶ		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書(緑書房)		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【事前学習】前回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物病理学		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	小松 志帆
授業の概要				
<p>さまざまな疾病をもたらす生体の変化について学び、病的状態を理解するための基盤を修得する。それをもとに、病的刺激に対する細胞傷害と物質代謝異常、細胞の死、細胞の適応、組織の再生と修復、循環障害、炎症、生体防衛反応、腫瘍、先天異常について理解する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>生体の正常な反応と病的反応を知り、疾病の原因について説明できる。          循環障害を病理学的説明できる。          炎症について病理学的説明ができる。          免疫異常について病理学的説明ができる。          腫瘍について病理学的説明ができる。          先天異常について病理学的説明ができる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として10年、動物病院で勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動物病理学とは	①病理学の目的②病理学の種類		
2	生体反応と病気の成り立ち 生体の回復力	①病気の原因②バイタルサイン③恒常性の維持と疾病④身体 の回復力に影響する因子		
3	細胞や組織に生じる変化	①細胞傷害の過程②さまざまな細胞傷害因子③障害を受け た細胞の変化		
4	増殖と修復	①細胞の増殖と組織の変化②化生③組織の修復と治癒		
5	循環障害①	①血液循環とリンパ液の循環②水腫③充血とうっ血		
6	循環障害②	①出血と止血②その他の循環障害		
7	炎症①	①炎症の原因と役割②炎症の五大主徴		
8	炎症②	①炎症の経過と治癒②炎症に関わる細胞とケミカルメディ エーター		
9	炎症③	①急性炎症の分類②慢性炎症の種類と特徴		
10	免疫異常①	免疫反応		
11	免疫異常②	免疫応答の異常		
12	腫瘍①	細胞の増殖分化とその異常 腫瘍の定義と分類		
13	腫瘍②	腫瘍の原因と発生メカニズム 腫瘍の転移と進行		



回	テ ー マ	内 容		
14	先天異常	①先天異常とは②先天異常の原因		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト3「動物の疾病と予防および回復」(ファームプレス) 専門基礎分野 動物病理学(インターズー)		期末試験 出席率	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物公衆衛生学 I		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ

## 授業の概要

公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。

## 授業終了時の到達目標

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。

実務経験有無	実務経験内容
有	香川県内の動物病院で6年の勤務、現在はペットショップで勤務する

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	公衆衛生学概論①	動物看護と公衆衛生の関係性を考え、公衆衛生の目的と活動を理解する
2	公衆衛生学概論①	動物看護公衆衛生の活動領域について学ぶ
3	人獣共通感染症とは	人獣共通感染症の定義と現状を知る。また新興感染症と再興感染症の発生要因。
4	伝播様式、予防対策	人獣共通感染症の動物から人への感染様式と、予防対策について学ぶ
5	動物由来の主な人獣共通感染症	イヌ、ネコ、サル類、げっ歯類の主な人獣共通感染症にはどのようなものがあるかを学ぶ
6	ウイルスによる人獣共通感染症①	ウイルスによる主な人獣共通感染症に入る前に、ウイルスの性状について振り返る
7	ウイルスによる人獣共通感染症②	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(狂犬病、高病原性鳥インフルエンザ)
8	ウイルスによる人獣共通感染症③	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(日本脳炎、ニューカッスル病、ウエストナイル熱)
9	ウイルスによる人獣共通感染症④	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(エボラ出血熱、Bウイルス病、ニパウイルス感染症)
10	ウイルスによる人獣共通感染症⑤	ウイルスによる人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(重症急性呼吸器症候群SARS, 牛海綿状脳症)
11	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症に入る前に、細菌の性状について振り返る

回	テーマ	内 容		
12	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（レプトスピラ症、パストツレラ症、カンピロバクター症、ブルセラ症、）		
13	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（サルモネラ症、腸管出血性大腸菌感染症、炭疽、野兔病、結核）		
14	細菌による人獣共通感染症	細菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ（破傷風、細菌性赤痢、ペスト、猫引っかき病、Q熱、オウム病、ツツガムシ病、ライム病）		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 授業態度 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物公衆衛生学Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	鈴木 ひとみ

## 授業の概要

公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。

## 授業終了時の到達目標

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。

実務経験有無	実務経験内容
有	香川県内の動物病院で6年の勤務、現在はペットショップで勤務する

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	真菌による人獣共通感染症①	真菌による主な人獣共通感染症に入る前に、真菌の性状について振り返る
2	真菌による人獣共通感染症②	真菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(皮膚糸状菌症、クリプトコッカス症)
3	寄生虫による人獣共通感染症①	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(原虫について、トキソプラズマ症)
4	寄生虫による人獣共通感染症②	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(ジアルジア症、クリプトスポリジウム症、アメーバ赤痢)
5	寄生虫による人獣共通感染症③	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(線虫によるもの、条虫によるもの)
6	寄生虫による人獣共通感染症④	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(寄生性節足動物によるもの)
7	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の違いについて学ぶ
8	滅菌と消毒②	物理的滅菌方法について学ぶ
9	滅菌と消毒③	物理的滅菌方法について学ぶ

回	テ ー マ	内 容		
10	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		
11	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		
12	人獣共通感染症の対策①	人獣共通感染症の対策について学ぶ		
13	人獣共通感染症の対策②	伴侶動物と共生する上での人獣共通感染症の対策について学ぶ		
14	人獣共通感染症の対策③	院内感染とは何か、またその対策について学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
産業動物学		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>伴侶動物とは異なる生理・生態・行動・習性・疾病・関係法令・飼育管理方法などを学ぶことにより、小動物臨床現場において応用可能な知識・技術を習得し、臨機応変な対応・考え方のできる動物看護師となり、社会人として必要な教養や一般常識を身に付けることが重要である。それぞれの動物に対し、伴侶動物とは異なる愛護精神が必要となるため、多様性のある物事のとらえ方、動物との接し方を学び、滑動物看護師としてどのように関わっていくかを考え思慮を深める。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>産業動物の社会的役割と目的、管理について理解し、多方向から看護対象をとらえることが出来る看護感を養うとともに、正しい知識を身に付けてそれを社会に普及・啓発し動物福祉の観点からヒトと動物の共生に寄与する人材となることを目指す。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>動物病院における小動物臨床に従事(37年) 動物系専門学校における動物看護系授業担当(14年)</p>		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	産業動物学授業の導入	産業動物とはどのような動物か。 産業動物の社会的役割と目的。 産業動物と伴侶動物の違いは何か。		
2	ウシ①	ウシの歴史、特性・品種		
3	ウシ②	ウシの解剖生理・繁殖生理		
4	ウシ③	ウシの飼育管理		
5	ブタ①	ブタの歴史、特性・品種		
6	ブタ②	ブタの飼養管理		
7	ニワトリ①	ニワトリの歴史、特性、品種		
8	ニワトリ②	ニワトリの飼養管理		
9	ウマ①	ウマの歴史、特性、品種		
10	ウマ②	ウマノ飼養管理		
11	ヒツジ・ヤギ	ヒツジ・ヤギの歴史、特性、品種 ヒツジ・ヤギの飼養管理		
12	畜産業について	我が国の畜産業の概要 地域による特性		
13	産業動物の動物福祉①	産業動物の福祉改善の歴史と定義 産業動物の飼養概況と動物福祉の課題		

回	テーマ	内 容		
14	産業動物の動物福祉②	産業動物に関する国際的福祉基準 動物		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト4（ファームプレス） 動物看護の教科書4（緑書房） 応用動物看護学3（インターズー）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実験動物学		動物看護総合学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>実験動物は医学、薬学、生命科学などにおける教育、研究、試験のために用いられる動物や、生物学的製剤の製造やその他の科学的な利用に供される動物である。</p> <p>それらは、目的に合わせてさまざまな種類の動物が用いられている。基本的には非終生飼育動物であり、それらは伴侶動物とは異なる飼育環境に置かれている。本学科ではそれぞれの動物の基礎的な管理に加えて、実験動物を管理する上で身に付けておくべき内容について学ぶ。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>実験動物の社会的役割と、実験動物として用いられる動物の種類を理解する。</p> <p>動物実験における「3Rの原則」を理解し、実験動物に対する福祉的な配慮について身に付ける。</p> <p>実験動物の飼育環境や実験動物の扱い及び管理について理解する。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院において獣医師としての診療業務	37年	
		動物系専門学校における教務	14年	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	実験動物概論①	実験動物の目的と配慮 実験動物とは		
2	実験動物概論②	実験動物の歴史 実験動物関連法規の誕生と発展		
3	実験動物の管理学①	生体因子の管理学 遺伝的モニタリングの管理学		
4	実験動物の管理学②	住居環境因子、物理化学的因子の管理学 栄養学的管理学 微生物学的管理学		
5	実験動物の管理学③	動物実験の基本技術 動物飼育管理上の注意点		
6	実験動物の特性と飼育管理①	マウス・ラット		
7	実験動物の特性と飼育管理②	シリアンハムスター・チャイニーズハムスター		
8	実験動物の特性と飼育管理③	スナネズミ・モルモット		
9	実験動物の特性と飼育管理④	ウサギ・サル類		
10	疾患モデル動物	自然発症疾患モデル動物・トランスジェニック動物 実験的疾患モデル動物、研究資源バンク		
11	動物実験の代替法	代替法とその活動 代替法開発の背景と現在の課題		
12	実験動物の福祉①	実験動物の福祉と動物実験に関する法規制 3Rの原則		
13	実験動物の福祉②	環境エンリッチメント 獣医学的ケア		



回	テーマ	内 容		
14	実験動物の福祉③	実験動物の苦痛の評価 安楽死を伴わない動物実験 労働安全衛生		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
応用動物看護学3（インターズー） 動物看護コアテキスト4（ファームプレ ス）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学		動物看護総合学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する				
授業終了時の到達目標				
動物の臨床看護に必要な知識を修得する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年間、動物病院に勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	健康の保持・増進①	1) 犬と猫の健康とは何か 2) 健康診断の目的・内容 3) バイタルサインとバイタルチェック 4)		
2	健康の保持・増進②	1) 基本的グルーミング 2) 被毛の手入れ 3) 適切な飼育環境やストレスの緩和方法		
3	健康の保持・増進③	1) 安全な散歩・運動の方法 2) 排泄の管理 3) 病気の早期発見 4) 定期的な健康診断		
4	診療補助に必要な技術①	1) 診察における動物看護師の役割 2) 診察室の準備、衛生管理		
5	診療補助に必要な技術②	1) 保定の基本的な原理、目的、方法 2) 身体検査、アセスメント項目		
6	検査・処置に必要な技術①	1) 注射器の取り扱いおよび管理方法 2) 採血の目的・方法		
7	検査・処置に必要な技術②	1) 穿刺・吸引 2) カテーテル挿入 3) 酸素吸入		
8	投薬に関わる技術①	1) 薬の処方 2) 内服薬の使用法		
9	投薬に関わる技術②	1) 薬剤の注射法 2) 外用薬の使用法 3) 薬浴の実施法 4) 投薬前後の注意事項		
10	輸液に関わる技術①	1) 輸液の適応とリスク 2) 輸液各種ルート(経口、皮下、静脈内)		
11	輸液に関わる技術②	1) 輸液計画 2) 各種輸液剤の特性や適応 3) 輸液中のモニタリング		
12	輸血に関する技術①	1) 輸血の適応とリスク		
13	輸血に関する技術②	1) 輸血計画 2) クロスマッチ試験と血液型		
14	輸血に関する技術③	1) 輸血に関わる手技 2) 輸血による副反応		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験の実施		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	コアテキスト第5巻（ファームプレス）	期末試験 出席率	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
<p>「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ」での実践能力に応用力を用いて動物の基礎情報を収集し、診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに、全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。投薬や輸液が必要なケースにおいて、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし、動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	口輪の使用法	イヌにおける口輪の選択と使用法を学ぶ		
2	眼科検査	眼の解剖生理を理解し、眼科検査時の保定法を身につける		
3	耳の検査	耳の解剖生理を理解し、耳の検査時の保定法を身につける		
4	血液	採血時の保定に必要な解剖生理学を学ぶ		
5	採血・静脈内注射	採血・静脈内注射時の保定および駆血の手技を身につける		
6	注射(皮下・皮内・筋肉)	皮下注射・皮内注射・筋肉内注射の部位を学び、注射時の保定の手技を身につける		
7	レントゲン	レントゲン撮影の仕組み・装置の操作法を学び、適切なポジショニングがとれるようになる		
8	心電図	心電図の仕組み・機器の操作法を学び、適切な保定法の技術を身につける		
9	超音波	超音波の仕組み・機器の操作法を学び、適切な保定ができるようになる		
10	各器官系評価	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。異常がみられ、疾患が懸念される場合は獣医師に報告できるようになる。		
11	各器官系評価	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。異常がみられ、疾患が懸念される場合は獣医師に報告できるようになる。		

回	テ ー マ	内 容		
12	各器官系評価	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。異常がみられ、疾患が懸念される場合は獣医師に報告できるようになる。		
13	各器官系評価	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。異常がみられ、疾患が懸念される場合は獣医師に報告できるようになる。		
14	各器官系評価	各器官系および外皮系の身体検査における、項目・評価について学ぶ。異常がみられ、疾患が懸念される場合は獣医師に報告できるようになる。		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
<p>「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。</p> <p>全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として8年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	バイタルチェック	イヌとネコの全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告の仕方を学ぶ		
2	衛生管理・入院管理	感染の定義と感染症を理解し、滅菌・消毒・殺菌への理解を深める。また、感染の予防の実践の仕方を学ぶ		
3	手術関連業務①	リネン類・手術器具の種類と用途目的を理解し適切な管理と準備を学ぶ		
4	手術関連業務②	縫合糸の種類と特性、用途目的を理解する。また、適切な滅菌作業と管理運用を学ぶ		
5	術前術後の看護①	気管挿管、血管確保の目的を理解し、準備と補助の手技を学ぶ		
6	術前術後の看護②	術前・中・後の輸液の目的を理解し、準備と接続、輸液管理の手技を学ぶ		
7	術前術後の看護③	術野の毛刈りと消毒の手技を学ぶ		
8	術前術後の看護④	手洗いおよび術着、手袋の着用の手技を学ぶ		
9	術前術後の看護⑤	術前術後看護①～④までの復習 術野の毛刈り・消毒、手洗いおよび術着・手袋の着用の手技を実践する		
10	術前術後の看護⑥	術創の保護を学び、術後のバイタルチェックの報告と記録、状況に応じた動物管理を学ぶ		
11	麻酔モニタリング①	麻酔器の仕組みを理解し適切に接続できる手技を身に付ける		
12	麻酔モニタリング②	モニター機器の仕組みを理解し適切な装着接続を学ぶ モニター数値の正常値・異常値を把握し理解する		

回	テーマ	内 容		
13	麻酔モニタリング③	術中のバイタルチェックの監視報告と状況に応じた動物管理を学ぶ		
14	麻酔モニタリング④	麻酔機器を獣医師の指示の基づき操作してみる		
15	期末試験	期末試験を実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 実習・実技評価	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅲ		動物看護総合学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	小松 志帆

## 授業の概要

診療現場に必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。採取した検体を用いた検査では、尿検査・糞便検査および血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。また、生体検査では、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。

## 授業終了時の到達目標

授業概要に記載

実務経験有無	実務経験内容
有	獣医師として10年、動物病院に勤務

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	臨床検査概論	臨床検査の意義を理解し、基本的手技を身につける。また、看護実践能力を身につける。
2	検体処理概論	検体の適切な取り扱いを身につける
3	検体処理① 血液採取法・保存法	血液採取法と各成分に応じた保存法について理解できる
4	検体処理 尿の採取・保存法	尿の採取法と保存法を理解できる
5	検体処理 採便法・保存法	採便法と保存法を理解できる
6	顕微鏡	適切な顕微鏡の操作法および取り扱いを身につける
7	顕微鏡2	正しい操作と基本的なメンテナンス法が理解できる
8	血液検査	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
9	血液検査2	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
10	血液検査3	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
11	血液検査4	CBC・生化学検査を基本に臨床現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける
12	尿検査	尿検査の意義を理解し、適切な手技を身につける



回	テ ー マ	内 容		
13	尿検査 2	尿検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
14	糞便検査	糞便検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床検査学実習Ⅳ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	小松 志帆
授業の概要				
<p>診療現場で必要な検体検査及び生体検査に関する意義を理解し基本的手技を身につけ、また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践を習得する。検査における動物看護師の役割を理解し、臨床検査の目的を解剖・生理学的知識とともに、検体検査および生体検査の目的と意義を理解し習得する。採取した検体を用いた検査では、尿検査・糞便検査および血液検査・眼科検査・耳の検査・皮膚科検査・その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。また、生体検査では、基礎的身体一般検査・X線検査・心電図検査と血圧測定・超音波検査・内視鏡検査・神経学的検査・CT・MRIなどの特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値の理解ができるようにする。</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として10年動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	眼科検査	診療現場で主に行われる眼科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
2	眼科検査2	診療現場で主に行われる眼科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
3	耳の検査	診療現場で主に行われる耳の検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
4	耳の検査2	診療現場で主に行われる耳の検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
5	皮膚科検査	診療現場で主に行われる皮膚科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
6	皮膚科検査2	診療現場で主に行われる皮膚科検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
7	内視鏡検査	内視鏡検査の原理と方法、意義を理解できる		
8	内視鏡検査	内視鏡検査の原理と方法、意義を理解できる		
9	神経学的検査	神経学的検査の方法と意義を理解できる		
10	神経学的検査2	神経学的検査の方法と意義を理解できる		
11	CT・MRI検査	コンピュータ断層撮影法(CT)と磁気共鳴画像法(MRI)の原理と手技について理解できる		
12	CTの・MRI検査2	コンピュータ断層撮影法(CT)と磁気共鳴画像法(MRI)の原理と手技について理解できる		

回	テ ー マ	内 容		
13	血液検査	CBC・生化学検査を基本に診療現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
14	血液検査 2	CBC・生化学検査を基本に診療現場で主に行われる血液検査の意義を理解し、適切な手技を身につける		
15	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー）		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習 I		動物看護総合学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜
授業の概要				
<p>周術期の術前・術中・術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。</p> <p>看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また麻酔が円滑に行われるためには、日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に含まれる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		獣医師として44年動物病院に勤務。これまでの臨床経験や場면을教材とし指導する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	手術補助	外科手術の流れ		
2	器具・機材の準備①	手術器具		
3	器具・機材の準備②	縫合材料(糸と針)		
4	器具・機材の準備③	ドレープ類・ガウンの意義		
5	器具・機材の準備④	電気メス		
6	器具・機材の準備⑤	器具の滅菌・管理		
7	避妊・去勢手術	外科手術を補助するための必要な基礎知識		
8	麻酔前評価	術前の患者動物の評価		
9	まとめ①	外科看護技術の修得		
10	術前の準備	手術室の準備(日常から当日まで)		
11	術者の準備①	手指の消毒法		
12	術者の準備②	ガウン・グローブ装着方法		
13	動物の準備①	術野の準備		

回	テ ー マ	内 容
14	動物の準備②	ドレープのかけ方
15	血管確保	血管確保の準備・手順

回	テ ー マ	内 容		
16	気道確保	気道確保の準備・手順		
17	輸液管理	輸液の準備・管理		
18	麻酔とは	麻酔の種類		
19	麻酔薬の作用	麻酔薬の作用・代謝・排泄		
20	麻酔前投与薬	麻酔前投与薬の意義		
21	鎮痛薬	鎮痛薬の意義		
22	麻酔導入	麻酔導入方法の理解		
23	吸入麻酔薬	吸入麻酔薬の意義		
24	酸素化	麻酔導入前の酸素化の意義		
25	麻酔器の構造と管理	麻酔器の仕組みの理解		
26	モニター機器の準備と管理①	ECGモニターの仕組みを理解		
27	モニター機器の準備と管理②	血圧モニターの仕組みを理解		
28	まとめ②	外科看護技術の修得		
29	麻酔のモニター①	気道のモニター、換気のモニター		
30	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト（インターズー） 周術期の動物看護パーフェクトナビ（インターズー） 動物看護師のための麻酔超入門（インターズー）		期末試験 出席率 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
外科動物看護学実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大平 一喜

## 授業の概要

周術期の術前、術中、術後において動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を習得する。

看護動物が安全に麻酔(手術)を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また日ごろからの手術器具、機材の管理が必要となる。周術期における手術助手として必要な知識と技術を習得する

## 授業終了時の到達目標

授業概要に含まれる

実務経験有無	実務経験内容
有	獣医師として44年動物病院に勤務する。これまでの臨床経験や場面を教材として指導する

## 時間外に必要な学修

回	テーマ	内容
1	麻酔前評価	術前の看護動物の評価
2	麻酔維持	モニタリングの目的
3	動物のモニター①	五感を使ったモニター方法①
4	動物のモニター②	五感を使ったモニター方法②
5	麻酔のモニター①	換気のモニター
6	麻酔のモニター②	酸素化のモニター
7	血液循環	血液循環とは
8	血液循環のモニター①	心電図モニター
9	血液循環のモニター②	心電図モニター
10	血液循環モニター③	血圧のモニター
11	血液循環モニター④	血圧のモニター
12	その他のモニター①	体温のモニター
13	その他のモニター②	尿量モニター
14	麻酔記録	麻酔記録の意義

回	テ ー マ	内 容
15	麻酔覚醒①	麻酔覚醒とは



回	テ ー マ	内 容		
16	麻酔覚醒②	抜管基準		
17	麻酔覚醒③	覚醒後の患者管理のポイント		
18	術後管理①	手術後の創傷管理①		
19	術後管理②	手術後の創傷管理②		
20	術後管理③	疼痛管理		
21	術後管理④	疼痛管理		
22	術後管理⑤	アメニティ		
23	術後管理⑥	アメニティ		
24	術後管理⑦	術後の栄養管理①		
25	術後管理⑧	術後の栄養管理②		
26	術後管理⑨	看護記録と報告		
27	まとめ①	麻酔記録・術後管理のまとめ		
28	まとめ：確認試験対策	外科看護技術の修得		
29	確認試験	外科看護技術の修得		
30	期末試験	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護コアテキスト6「動物看護の実践」ファームプレス 専門分野「動物外科看護技術」インターズー		期末試験 出席率 実習・実技評価	50.0% 20.0% 30.0%	【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究ゼミ I		動物看護総合学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
研究内容(テーマ)を決定し、順次研究を開始する				
授業終了時の到達目標				
自分の対象とした研究分野への理解				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年、動物病院に勤務する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	研究内容の選定	歴代の研究内容を参考にし、自分の興味ある分野を模索する		
5~13	研究開始	自分の興味のある分野に対する研究を開始する		
14~15	中間発表	現在までの進捗度を報告する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
卒業研究予算として1000円/人		課題・レポート 出席率	50.0% 50.0%	【事前学習】卒業研究に必要なデータ収集

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅱ		動物看護総合学科/2年	2020/後期	外部実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、自身が動物病院でどのように加わるかを考える</li> <li>学校で修得した知識や技術が動物看護業務を実践する上で必須であることを理解する</li> <li>飼い主対応や処置室等での臨床症例を見学し、可能な範囲で体験学習する中で、円滑な人間関係を築くために必要な技術や能力を修得する</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~6	体験型実習	オリエンテーションを受け、実習を通して実際の動物看護業務を体験し、その職務内容を理解する		
7~12	体験型実習	可能な範囲で行う実習項目において、動物看護師としての業務・役割を果たす		
13~18	体験型実習	チームで行う愛玩動物に対する医療は、獣医師・動物看護師・スタッフ全員がそれぞれの役割を担いつつ、協力し合うことで最善の成果を出せることを理解し、良好なコミュニケーションを構築する		
19~24	体験型実習	動物愛護の精神・言葉遣い、プライバシーの尊重など基本的な事項について理解する		
25~30	体験型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連について認識を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	90.0% 10.0%	・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに

回	テーマ	内容	
			点数化し評価する 【衛生・健康管理】（優）8点 （良）7点（可）6点（不可）5点 【接遇マナー、勤務状態】（優）6点（良）5点 （可）4点（不可）3点 ・合計で100点満点とする